

# すごろくを手がかりに考える、明治時代の国づくり

市原市立寺谷小学校 岩野 敬

## 1. 実施学年及び教科・領域

小学校第6学年 社会科

## 2. 学習のねらいと博物館の活用との関連について

### (1) 単元名

「明治の国づくりを進めた人々」

### (2) ねらい

#### ①学習指導要領との関連

小学校学習指導要領社会科 第6学年の 2 内容 (2) ア

我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。ケ黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。

#### ②単元の目標

< 社会的事象への関心・意欲・態度 >

- ・黒船の来航から明治維新、文明開化などの時代の変化とともに、廃藩置県、四民平等、大日本帝国憲法の発布等の諸改革を行った明治政府に関心を持ち、わが国が欧米の文化を取り入れながら近代化を進めていったことをすすんで調べようとしている。

< 社会的な思考・判断・表現 >

- ・明治という新しい時代になって人々の生活が変化したことや、わが国を近代化するために様々な諸改革を行った人々の思いや願いについて、学習問題や予想、学習計画を考え実現する。
- ・黒船の来航、明治維新、文明開化と時代が変化し、廃藩置県、富国強兵、地租改正や四民平等、大日本帝国憲法の発布等の諸改革を行ったことについて調べたことを比較したり、関連させたり総合したりして、明治政府が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことや、それらに関わる人物の願いや働き、文化遺産の意味を考え、人物相関図などに表現している。

< 観察・資料活用の技能 >

- ・明治という新しい時代になって人々の生活が変化したことや、わが国を近代化するために様々な諸改革を行った代表的な人物の働きや文化遺産について、必要な情報集め、読み取っている。
- ・調べたことを白地図や年表、作品やノートなどにまとめている。

＜社会的事象についての知識・理解＞

- ・黒船の来航、明治維新、文明開化と時代が変化し、明治政府が廃藩置県、四民平等、大日本帝国憲法の発布などの諸改革を行ったことを通して、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことがわかっている。

### （３）博物館との関連

#### ①活用方法

- 「非来館型活用」……歴博画像データベースに収録されている画像を使用している学校での授業実践。

#### ②活用資料

- 御大名出世双六（H-1330-6 幕末官職出世双六）
  - ・歴博HP内の「歴博画像データベース」にて公開されている。今回は小学生用にワープロで打ち直し、ふりがなや注釈をつけたものを使用した。
- 明治立身双六（H-22-3-146 錦絵コレクション）
  - ・同じく「歴博画像データベース」にて公開されている。公開されている画像は解像度が低いので、歴博に依頼し、高解像度の画像データを送信していただいた。

### （４）指導観

本単元では江戸時代と明治時代の日本橋の様子と比較と、江戸時代と明治時代に遊ばれていたすごろくの比較から、単元を通じた学習問題を作ることを始まりとしている。これは現勤務校の児童の多くは、既習事項についてはある程度理解があるものの、未習事項については全く知識を持っていない、という事情によるものである。（実態調査によると「明治維新」という言葉については、「知っている」と答えた児童はおらず、江戸時代と明治時代についても「知らない」と答えた児童がほとんどであった。）

そのため、まずは児童に比較的なじみのあるすごろくを単元の導入にやってみることによって、江戸時代と明治時代の身分の違いや、明治維新を進めていった人々の意図について、楽しみながら捉えられるようにしていくことをねらいとしている。

この時、使用するすごろくは教科書会社が作成した「学習すごろく」のようなものではなく、実際に江戸時代や明治時代に使われていたものとした。その理由は当時の史料を直接取り扱うことによって、歴史がおとぎ話や単なる事実の羅列ではなく、文字通り人が作ってきた道程であることを実感してほしいからである。また、「昔の人が遊んでいたものと全く同じものを自分たちが遊んでいる」という感動を児童にも味わってほしいという願いもある。

歴史民俗博物館には昔遊ばれていたすごろくが大量に収録され、データベース化されているため、授業者の意図する双六を探しやすい。紙に印刷をすればすぐ使えるので、敷居も低く汎用性も高いと考える。

### 3. 指導計画（8時間扱い）

| 過程     | 時間      | ○学習内容と活動  | ■評価の観点   |
|--------|---------|---|--|
| 導<br>入 | 1       | ○江戸時代の日本橋の様子と明治時代の日本橋の様子を比べてみて、わかることや考えたことを話し合う。<br>○同じように、「勉強している様子」と建物を比べて、話し合う。  | ■江戸から明治への変化に関心を持ち、大きな変化に気づき、誰がどのようにして変えていったのか疑問を持とうとしている。<br>(話し合い、関)                            |
|        | 1       | ○江戸時代のすごろく「御大名出世双六」を行い、わかることや考えたことをワークシートに書く。<br>○明治時代のすごろく「明治立身双六」を行い、わかることや考えたことをワークシートに書く。<br>○江戸時代のすごろくと明治時代のすごろくを比較することによって、明治時代のすごろくは立身出世に身分が影響していないことに気づく。 | ■すごろくを行い、江戸時代の立身出世と、明治時代の立身出世について関心を持つことができる。<br>(机間巡視・ワークシート、関)                                 |
|        | 1<br>本時 | ○明治時代のすごろくの特徴や幸田露伴の『努力論』の一説から明治時代の人々がどのような思いで国のしくみや社会を変えようと思っていたのか考え、学習問題を立てる。  | ■明治時代の人々がどのような思いで、国のしくみや社会を変えようと思っていたのか考えることができる。<br>(発表・ワークシート、思)                               |
| 展<br>開 | 1       | ○どのようにして江戸幕府が倒れたかについて調べ、新しい世の中に変わる過程を話し合う。<br>○明治維新の中心となった人物について調べ、何を行い、何を目指したのか、考えを出し合う。   | ■日米修好通商条約が、国内生活を混乱させ、幕府への不満を募らせていたことや、江戸幕府よりも強い政府が必要と考えた若い武士たちが明治維新を進めたことを理解している。<br>(発表・話し合い、知) |
|        | 1       | ○欧米に学んだ大久保利通らが、どのような国づくりを目指したのか調べ、発表する。   | ■明治の諸改革を相互に関連付けて考え、大久保利通らが、富国強兵を進めるために国の財政を安定させようとしていたことを表現している。<br>(ワークシート・発表、思)                |
|        | 1       | ○改革に不満を持つ人々の行動について調べる。  | ■政府に不満を持つ人々の行動が、反乱から言論へと変化して   |

|     |   |   |  |
|-----|---|---|--|
|     |   | ○板垣退助と自由民権運動について調べる。  | いったことを、国会開設を求める板垣退助の願いや行動と関連づけて考えている。<br>(ワークシート、思)  |
|     | 1 | ○各地で作られた憲法案や伊藤博文が作った憲法案について調べ、話し合う。<br>○議会と選挙制度について調べる。   | ■伊藤博文が作った大日本帝国憲法の特色について、資料を活用して調べ、天皇に強い権限があることや選挙権を持つ人は国民の一部だったことを読み取り、まとめている。<br>(ワークシート、技) |
| まとめ | 1 | ○学習を振り返って、各時間のまとめを整理し、グループで人物関係図を作る。<br>○他のグループと作品を見せあって感想を交流することで、さらに理解を深める。<br>○学習問題についての考えをまとめる。 | ■関係図の中心となる(最も興味を持った)人物を選び、その他の人物や出来事との関係を考えて、適切に表現している。<br>(関係図・話し合い、思)                      |

#### 4. 実践の概要

##### (1) 11月22日の実践 (展開3 / 8)

##### ①実践の様子

| 時配   | 学習内容と活動  | 支援 (○) と評価 (☆)   | 資料   |          |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|----------|--|--|--|--|--|--|--|
| 10   | <p>①前時までの復習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代と明治時代では2～30年間の間に大きな変化があった。(明治維新)</li> </ul> <p>〈御大名出世双六〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>武士の出世をとりあつかっている。</li> <li>お金が集まる役職が決まっている。</li> <li>下の役職がお金を払っている。</li> <li>お金を払わない役職もある。</li> <li>最初から高い位の人が高い位で終わる。</li> <li>最初が低い位だと上がれない。</li> <li><u>武士以外の職がない。</u></li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教室掲示をもとに振り返っていく。</li> <li>○すごろくの拡大図をしめす。</li> <li>○江戸時代の身分制 (士農工商) も同時におさえる。</li> <li>○江戸時代すごろくの出世が、あくまでも武士という身分の中だけであることを強調する。</li> <li>○明治時代のすごろくは全員が旧身分の様々な職業 (武農工商) に就くことができることを強調する。</li> </ul>   | <p>教室掲示<br/>拡大すごろく (江戸)</p> <p>拡大すごろく (明治)<br/>ワークシート</p>  |          |  |  |  |  |  |  |  |
| <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;"><b>上</b></td> </tr> <tr> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> </td> </tr> </table> |  |  |  | <b>上</b> |  |  |  | <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> | <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> | <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> | <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> |
| <b>上</b>   |  |  |  |          |  |  |  |  |  |  |  |
| <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p>   | <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> | <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> | <p>①大名家 (Daimyo)</p> <p>②御家人 (Gokenin)</p> <p>③士族 (Shizoku)</p> <p>④平民 (Heimin)</p> <p>⑤農工商 (Noukougou)</p> <p>⑥土族 (Dokushu)</p> <p>⑦代官 (Daikan)</p> <p>⑧代官 (Daikan)</p> <p>⑨代官 (Daikan)</p> <p>⑩代官 (Daikan)</p> <p>⑪代官 (Daikan)</p> <p>⑫代官 (Daikan)</p> <p>⑬代官 (Daikan)</p> <p>⑭代官 (Daikan)</p> <p>⑮代官 (Daikan)</p> <p>⑯代官 (Daikan)</p> <p>⑰代官 (Daikan)</p> <p>⑱代官 (Daikan)</p> <p>⑲代官 (Daikan)</p> <p>⑳代官 (Daikan)</p> <p>㉑代官 (Daikan)</p> <p>㉒代官 (Daikan)</p> <p>㉓代官 (Daikan)</p> <p>㉔代官 (Daikan)</p> <p>㉕代官 (Daikan)</p> <p>㉖代官 (Daikan)</p> <p>㉗代官 (Daikan)</p> <p>㉘代官 (Daikan)</p> <p>㉙代官 (Daikan)</p> <p>㉚代官 (Daikan)</p> <p>㉛代官 (Daikan)</p> <p>㉜代官 (Daikan)</p> <p>㉝代官 (Daikan)</p> <p>㉞代官 (Daikan)</p> <p>㉟代官 (Daikan)</p> <p>㊱代官 (Daikan)</p> <p>㊲代官 (Daikan)</p> <p>㊳代官 (Daikan)</p> <p>㊴代官 (Daikan)</p> <p>㊵代官 (Daikan)</p> <p>㊶代官 (Daikan)</p> <p>㊷代官 (Daikan)</p> <p>㊸代官 (Daikan)</p> <p>㊹代官 (Daikan)</p> <p>㊺代官 (Daikan)</p> |          |  |  |  |  |  |  |  |
| <p>〈明治立身双六〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートする時は平等。(お金の有無のみ)</li> <li>・どの職にもつくことができる。</li> <li>・身分で職が分けられていない。</li> </ul>  |  |  |  |          |  |  |  |  |  |  |  |

- ・貧乏でもあがることができる。
- ・お金持ちに生まれても、生活態度が悪いとあがれない。



〈二つのすごろくの違い〉

- ・江戸時代のすごろくは、武士は武士にしかなれなかったけど、明治時代のすごろくは、いろいろな職に就けた。

②本時の学習の確認

江戸時代と明治時代の変化について考え、学習問題をたてよう。

10

- ③作者がどのような思いで、このすごろくを作ったのか考える。
- ・生まれが貧しくても、心がけで出世することができることを伝えたかった。
  - ・身分のない社会になってほしいと思っていた。

明治の偉人を導いた人々 (3/8) ( ) 著 名前 ( )

偉人伝 名出世すごろくの作者は、どのような思いで、このすごろくを作ったのだろうか。



幸田 露伴 (こうた さらん)



自分が調べていきたいこと (自分が立てた学習問題)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

単元の学習問題

\_\_\_\_\_

- 幸田露伴の努力論の一説を示し、露伴が努力の大切さを説いていたことを示す。


ワークシート

|  |   |  |        |
|--|---|--|--------|
| 20   | <p>④学習問題作りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代のすごろくと明治時代のすごろくを比較し、江戸時代にはなぜ明治時代のような考え方が出なかったのか考える。</li> <li>偉い人がだめだと言った。</li> <li>将軍が許さなかった。</li> <li>明治時代はなぜ身分制度がなくなったのか考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>偉い人が身分制度をなくした。</li> </ul> </li> </ul> | <p>☆明治時代の人々がどのような思いで国のしくみや社会を変えようと思っていたのか考えることができる。</p> <p>(発表・ワークシート、思)</p> | ワークシート |
| <p>明治維新では、どのような人々がどのような思いや願いで、国のしくみや社会を変えようとしたのだろうか。</p> |   |  |        |
| 5  | ⑦次時の予告を行う。  |  |        |

②板書

学 江戸時代と明治時代の変化について考え、学習問題をたてよう。

〈作者がどのような思いで、このすごろくを作ったのだろうか〉。



- ・生まれが貧しくても、心がけで出世することができた。
- ・身分のない社会を作りたかった。

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1 班の考え | 2 班の考え | 3 班の考え |
| 4 班の考え | 5 班の考え | 6 班の考え |

〈調べていくこと〉

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 児童の考え | 児童の考え | 児童の考え |
| 児童の考え | 児童の考え | 児童の考え |

単 明治維新では、どのような人々が、どのような思いや願いで、国のしくみや、社会を変えようとしたのだろうか。

## 5. 成果と課題

### (1) 成果

- ・江戸時代（御大名出世双六）と明治時代（明治立身双六）のすごろくを使った学習では、ほぼ全員の児童が夢中に取り組む姿が見られた。「もっとやりたいな」という声があがり、休み時間に自分たちで遊ぶ姿が見られた。
- ・また、このすごろくをきっかけに、江戸や明治の人物に興味を持ち、宿題の自主勉強として、ノートに調べていた児童が何名かいた。
- ・すごろくで取り扱った単元（江戸、明治）の知識の定着率は、他の単元に比べて高く、事後に実施したアンケートでも、ほぼ全ての児童が、「江戸時代にはどのような身分があったか」や、「明治維新の意味」について答えることができた。
- ・以上のことから、すごろくを使った導入というのは、児童に意欲を持たせるという意味では有効であると考えられる。
- ・また、歴史の学習に対する抵抗感のようなものもなくなり、結果としてすごろくですらに遊んだり、自主的に勉強に取り組んだりすることによって、理解が進んだものと思われる。

### (2) 課題

- ・江戸時代のすごろくについては武士の職制を表したものであり、これによって江戸時代の身分が分かるわけではない。
- ・江戸時代の身分全てを取り扱ったようなすごろくは発見することができず、身分を考察させると言う意味では教材として無理があったのではないかと感じられた。
- ・2枚のすごろくや、明治時代のすごろく（明治立身双六）の作者である幸田露伴の言葉などから、江戸時代と明治時代の違いを考えさせ、考察を行わせると言う活動を行った。そして、単元を貫く学習問題を立てさせたが、すごろくの比較からでは、なかなか単元の学習問題を導く事は難しいのではないかと思われた。





ワークシート

明治の国作りを進めた人々（3/8）（ ）番 名前（ ）

◎明治立身すごろくの 作者は、どのような思いで、このすごろくを作ったのだろうか。



幸田 露伴（こうだ ろはん）

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |



|  |
|--|
|  |
|--|

自分が調べていきたいこと（自分が立てた学習問題）

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |

単元の学習問題

|  |
|--|
|  |
|--|